

みやこ町図書館だより 2013秋

# ふくろうの森通信

発行 2013年10月1日 第22号



## 夏休みチャレンジ教室

今年も、みやこ町の各図書館でチャレンジ教室が行われました。



### 「カプラ積み木」

7月28日 犀川館

カプラはフランスの積み木です。高く積みあげたり、いろんな形を作ったり…。皆夢中で挑戦しました。



### 「アイスクリームをつくろう」

7月30日 勝山館

牛乳や卵を使ったアイスクリームを作りました。凍らせるために、材料を振るのは大変でしたが、おいしくできました。



### 「万華鏡をつくろう」

8月4日 中央館

トイレットペーパーの芯とビーズや鏡を使った万華鏡です。キラキラしてとてもきれいでした。





# 図書館員の仕事紹介

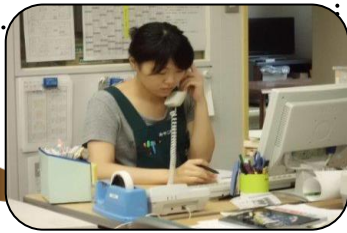


## 普段 どんなことをしているの？

みやこ町図書館は、たくさんの資料を通じて、読書の楽しさを伝えたり、学びの場の提供を行っています。その為に、日々図書館員が行っている仕事はたくさんあります。今回はその中でもあまり目にする機会のない仕事の一部を紹介します。

### ★予約連絡

予約した利用者に資料が用意できたことを連絡しています。連絡は電話で行います。



### ★相互貸借

図書館にない本や雑誌を他の図書館から借りてきて利用者に提供することです。県内外の図書館に依頼した本が毎週届くので、利用者に貸出できるように準備しています。また、他の図書館からの依頼に応じて、みやこ町の本の貸出も行っています。

### ★本の選書・発注

図書館員は毎週どの本を購入するか選書会議で決めています。会議後発注し、納品された本は、毎週水曜日に所蔵の印鑑を打つなどの準備をしてから新刊コーナーに置いています。

### ★本・雑誌の装備

書店から購入している雑誌が毎日届くので、汚れが付かないように本を保護するフィルムで補強したり、パソコンに雑誌データを入力して棚に出しています。利用者からの寄贈本の受け入れ判断、フィルム装備・データ入力も随時行ってます。

### ★館内整理日

毎月最終木曜日に行っています。この日は、特設コーナーの入れ替えや古くなった本の書庫への移動、新聞の片付けなど普段できない作業をしています。

### ★資料の修理

図書館の本はたくさんの人に読まれるので、壊れたりする本も多いです。ページが破れたり取れたりした本はこれ以上劣化しないように専用のテープやボンドを使って1冊ずつ丁寧に修理しています。

### ★ぐるりん架の準備

新刊から一定期間過ぎた一般向けの本を、中央館・犀川館・勝山館でまわしてたくさんの利用者に見てもらえるようにしています。ぐるりん架の本は、だいたい1か月くらいで次の館に送っています。



### ★蔵書点検

年に一度、全ての図書や資料が正しい場所にあるか確認します。1冊1冊のバーコードを読み込む大掛かりな作業です。



いかがだったでしょうか。その他にもカウンターでの貸出返却や移動図書館など館外活動、学校への支援活動など様々な活動をしています。機会がありましたら、そちらも紹介していきたいと思います。利用の方がより使いやすい図書館になるようにこれからも努力していきますので、ご協力よろしくお願ひします。



# としょかん司書お勧め チェック本

## 【一般向け】

『白い人びと』

フランシス・バーネット (著)

中村 妙子 (訳) みすず書房  
亡くなってしまった人がみえる少女イゾベル。その能力を他人に悟られないように大切に育てる周りの人びと。イギリスを舞台にした幻想的作品。他にエッセーや童話などを収録。(2013)



## 【一般向け】

『季節七十二で候。』

大田垣 晴子 (画・文) メディアファクトリー

はるかぜこおりをたく あやめ  
東風解凍、菖蒲…。五日ごとの季節を表現した七十二候。この本は、候に合わせた心地よい生活を、イラストで綴っています。季節の流れを意識した生活を送るには、ぴったりの本です。日本独特の表現を楽しみながら、日々を過ごしてみませんか? (2013)



## 【児童向け】

『幽霊』

小松 和彦 (監修) 中田 由見子 (絵)

グラフィック社

思いを残して死んだ者達がさまよう。お岩、菅原道真、あめ買い幽霊、お菊…。古くから語られてきた、さまざまな幽霊や怨霊の特徴、元となった話が詳しく載っている。(2013)



## 【児童向け】

『チャーメインと魔法の家』

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ (作)

市田 泉 (訳) 徳間書店

チャーメインは本が大好きな女の子。あるとき、王宮付魔法使いのおじさんの家の留守を預かることに。でも、この家、一筋縄ではいかなくて…。

『ハウルの動く城』シリーズの待望の新刊。摩訶不思議な世界観に、読み始めたら止まらない! (2013)



【質問】「馬ヶ岳」と「黒田 官兵衛」の関係について知りたい。

【回答】みやこ町と行橋市にまたがる馬ヶ岳には、黒田官兵衛 (黒田考高)・黒田長政親子が一時期居城していた。他説では中津城が出来上がるまで、官兵衛は築上郡八田の法念寺に留まり、息子の長政のみが馬ヶ岳城を居城としていたと言われている。

「福岡県の城郭 戦国城郭に行く」 銀山書房 (2000)

「藩史大事典 第7版」 木村 礎 他 (著) 雄山閣 (1988)

「福岡古城探訪」 廣崎 篤夫 (著) 海鳥社 (1997)

「福岡県の城」 廣崎 篤夫 (著) 海鳥社 (1995)





10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

12月28日～1月4日まで年末年始のため、休館いたします。

開館時間 : 10時から18時まで

休館日 : 毎週月曜日  
毎月最終木曜日  
(木曜日が祝日の場合翌日)

お問い合わせ

- みやこ町中央図書館  
みやこ町豊津 1122-12 ☎33-1040
- みやこ町犀川図書館  
みやこ町犀川古川 50 ☎42-3330
- みやこ町勝山図書館  
みやこ町勝山黒田 86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

# 本のある風景

【中央図書館 ギャラリーコーナー】

今回は、中央図書館の設備についてご案内します。

中央図書館には、入り口から入って左側にギャラリーコーナーがあります。このスペースは利用者に貸出をしています。町民の方たちのサークル活動の作品の発表や交流の場として、利用されています。今まで展示していただいたものは、絵画、写真、陶芸など様々です。

使用の受付は約1年前から先着順で行っており、使用期間の目安は約1ヵ月で、利用料は無料です。

興味のある方は、ぜひ、ご利用下さい。皆さんの力作をお待ちしております。



## 声

このコーナーでは、利用者の皆さんからよくある質問をご紹介します

図書館にある新聞は、当日以外の過去のものはどうしているのですか？そのまま捨てているのですか？

新聞も大切な図書館の財産です。時事内容や地域の情報を調べるときにも便利です。しかし、保管するスペースの問題や劣化などで永久に取っておくことはできません。

そのため、みやこ町では期限を区切って保管しています。当日分と1ヶ月分（犀川館は1週間）を館内に出しています。その他に、中央館は2年分、犀川・勝山館は1年分を書庫で保存しています。保存期限を過ぎたものは、廃棄となります。

過去の新聞を閲覧したい場合は、職員にお問い合わせください。

## 編集後記

今年の夏も本当に暑かった・・・。

しかし、特に食欲が落ちるわけでもなく、あれだけ汗をかいたのに、全然痩せていないのも事実。そのまま「天高く馬肥ゆる秋」に突入です。美味しいものへの誘惑には勝てません。(高)

